

《学習のねらい》

- ・海辺の観察を通して、海辺の多様な生物に関心を持ち、生物とふれあう中で自然のすばらしさに気づく。
- ・海辺には人間が捨てたゴミがたくさんあり、それが生物の成長や生存の妨げになっていることに気づき、自然を守り、大切にすることを育てる。



《学習の流れ》

実施時期 平成27年7月2日

「うみべの森を育てる会」の方々の協力を受ける。

①海辺の周りにおける植物の説明を聞く。

- ・オカヒジキやハマダイコン、ハマゴボウ、ハマウド等の植物の説明を受ける。海辺の植物にふれて関心を持つ。

②海に入り、網を使って生き物を探す。礫海岸砂浜にいる生き物を探す。海の周りにおける植物を採集する。採集した生き物は持参した牛乳パックの入れ物に入れる。採集した生き物（アカテガニ、イソガニ、ヤドカリ、イヌノシタ等）は一カ所に集める。

③採集した生き物の説明を受ける。

- ・「うみべの森を育てる会」の方々に採集した生き物の説明を聞き、興味を持った植物や生き物を絵にかく。

④海辺に落ちているゴミを拾い集める。清掃活動を行う。

⑤教室に戻ってから、学習したことをまとめる。

⑥学習したことを発表しよう。



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

「うみべの森を育てる会」の方々(地域の方)



《成果（児童の感想や反応 等）》

- ・イヌノシタという魚を初めて聞いて、初めて見ました。イヌノシタと聞いてびっくりしました。
- ・こんなに生き物がたくさんいるとは、知らなかったです。
- ・魚をたくさん見られました。陸にひじきがあるのを初めて知りました。
- ・海岸にはたくさんのごみが捨ててありました。
- ・この体験をしてから、海におちているゴミが、とても気になるようになりました。あんなに生き物がいっぱいいるのが、わかったからだと思います。
- ・海にゴミを捨てると、あんなに海にいる生き物に、迷惑がかかるんだと思いました。

